
卷 頭 言

— 品 質 管 理 の 普 及 —

山 岡 武*

戦後日本の産業界に色々の新しい學問や技術が導入された。然し品質管理程迅速に各産業に普及し、顯著なる効果を擧げて居るものは少い。私は昭和24年春頃日本科學技術連盟の主催の最初の講習會に出席した。其の當時未だ工場現場に品質管理を知つて

居る人も少く、大體どういふ事をするものかよく解らなかつた。そこで品質管理とは一體どんな事をするものか知りたいたい云う様な氣持で聽講した。

話を聞いて見て、これは確かによい事とは思つたが、推理統計學等中々六ヶ敷しいものと思つた。

然るに其の後日科連や其の他の學會で盛んに講習會を開いて其の普及を計り、殊に米國のデミング博士が來朝して親しく其の蘊蓄をさすけるに及んで、非常な勢を以て各産業界に普及し、今日鐵鋼業方面等にて現場作業の研究や其の向上を計る爲めに品質管理を應用しないものはないと云う有様となつた。品質管理に對するデミング博士の功績は大きいと思ふ。

私は昭和26年夏3日間日光で、デミング博士の講習を受け、大變よい事であつたと思つて居る。品質管理を實施すると、從來常識的にこういう傾向と思われるとか、經驗上漠然とこれがよいとか云う様な事ははつきり數字的に又グラフの上に明瞭に其の良否が解り、こんな便利なものはない。これによつて品質の改良、歩留の向上、技術の進歩、生産費の低下等を來し、これを實施した工場は何れも年々莫大の利益を受く

* 前 會 長

る様になつた。従つて此の品質管理が一般産業界に大いに歓迎され、豫想以上に普及する様になつたのも當然の事と思ふ。

本年 11 月 24 日より 5 日間に亘つて、東大の講堂にて各學會の 28 年度の品質管理大會が日科技連主催の下に開かれた。私は最初の 2 日間出席した。第一會場は鑛鋼部門、第二會場は化學部門で何れも 300 名以上を收容し得る大講堂であつたが、常に満員にて時には 3, 40 名位後の方に立つて聞いて居ると云う盛況であつた。各講演に就いて熱心に質疑應答が行われ誠に盛會であつた。

今後共益々品質管理を普及し、ひとり鐵鋼業のみならず日本の全産業の向上を計りたいと思ふ。